

令和6年度 教育・保育施設等の利用定員(案)

【単位:人、()は前年度】

教育・保育施設				令和6年度利用定員の設定			
				3号認定		2号認定	1号認定
				0歳児	1歳・2歳	3歳-5歳	3歳-5歳
総利用定員	施設型給付	認定こども園 (21施設)	79 (77)	456 (420)	977 (926)	1,086 (1,151)	
		認可保育所 (3施設)	17 (17)	70 (70)	27 (27)		
		幼稚園 (1施設)				250 (337)	
		小計 ①	96 (94)	526 (490)	1,004 (953)	1,336 (1,488)	
	地域型保育給付	小規模保育所 (8施設)	54 (54)	74 (74)			
		事業所内保育所 (2施設)		31 (31)			
		小計 ②	54 (54)	105 (105)			
	合計 ③(=①+②)			150 (148)	631 (595)	1,004 (953)	1,336 (1,488)
	給付対象外	市の直営・単独補助・企業主導型 等の認可外保育施設 (12施設)	13 (13)	77 (77)	97 (97)		
		小計 ④	13 (13)	77 (77)	97 (97)		
総利用定員の合計 ⑤(=③+④)			163 (161)	708 (672)	1,101 (1,050)	1,336 (1,488)	
計画上の「量の見込み」 ⑥			164	691	1,033	1,625	
計画上の「確保方策」 ⑦			164	691	1,033	1,692	
「総利用定員」と計画上の「確保方策」との差 ⑧ (=⑦-⑤)			▲ 1	17	68	▲ 356	

【資料説明】

(1) 1号認定子ども(3歳-5歳 教育)

1号認定子どもの定員の確保状況は、計画上の確保方策(⑦)に対して▲356名(⑧)となっています。定員数は利用実態にあわせて減少しておりますが、必要な定員数は確保しています。

(2) 2号認定子ども(3歳-5歳 保育)

2号認定子どもの定員の確保状況は、計画上の確保方策(⑦)に対して+68名(⑧)と増加しています。共働き家庭等の増加に伴う保育の受け皿を確保するため、令和6年度は51名の定員拡大を図りました。

(3) 3号認定子ども(0歳-2歳 保育)

3号認定こどもの定員の確保状況は、計画上の確保方策(⑦)に対して0歳児は▲1名、1・2歳児は+17名(⑧)となっています。3号保育の需要は特に高く、令和6年度は38名の定員拡大を図りました。